

第8回全国薬草シンポジウム2019inひだ



全国で薬草の取り組みを行っている自治体を会場として開催している、「全国薬草シンポジウム2019inひだ」が10月12日(土)・13日(日)、飛騨市文化交流センターおよび古川町市街地等で開催されました。

この催しは、全国の薬草団体や薬草ファン同士の交流を図ることや、飛騨市で推進している薬草活用に関する取り組みをPRし、薬草の魅力を多くの方々に認知してもらうことを目的として、全国薬草シンポジウム2019inひだ実行委員会(北平嗣二実行委員長)が開催したものです。

■薬草の活用をテーマとした講演会とトークセッション

1日目は、九州大学名誉教授で薬草博士の正山征洋先生による基調講演が行われ、「飛騨の野山は薬箱」をテーマに、身近な野草や食品による認知症予防、健康寿命の延伸などについて医学的根拠を交えながら分かりやすく話がありました。講演終了後には、「薬草を活用した持続可能なまちづくり」をテーマにトークセッションが行われ、正山先生をはじめ、TABEL(株)代表の新田理恵さん、ハーブ王子こと野草研究家の山下智道さん、都竹市長、料理旅館燕水亭女将の北平修子さんら5人が登壇し、地域開発プランナーの永田マミさんのファシリテーションにより薬草を活用したそれぞれの取り組みについて意見が交わされました。参加者からも多くの質問があり活発なトークセッションとなりました。



◀トークセッションのようす



◀正山先生による基調講演

■Medical Herb Night【薬草料理交流会】

夜には、料理旅館 蕪水亭料理長の北平嗣二さんが薬理効果にこだわり調理方法を研究してきた薬草料理による交流会が行われました。

交流会では、全国から訪れた薬草に関わっている団体、個人や市民ら約130人が参加し、おいしい薬草料理を囲んで交流を深めました。



◀薬草料理交流会のようす

■飛騨古川の町並み散策
薬草ワークショップ巡り

2日目には、古川の町並みを舞台とした薬草ワークショップ巡りが開催されました。

市街地8会場で、16種類の薬草ワークショップや薬草茶スタンプラリーが行われ、家族連れなど多くの方が参加し、身近に生息している薬草活用を楽しみながら体験しました。



◀薬草こけ玉づくり



▲薬草を使ったベーグルづくり



◀クズの花玉づくり

■地元飲食店による薬草料理の出品、薬草マルシェの開催

市街地ではワークショップ巡りのほか、地元飲食店によるこの日限りの薬草料理が多数出品されました。来場者は薬草ランチプレートや薬草カレー、薬草スイーツなど薬理効果も計算されたおいしい薬草料理に舌鼓を打ちました。また、円光寺では薬草マルシェが開催され、飛騨の薬草や山の幸、野草茶などが販売されました。



◀薬草マルシェ



◀クレソンを使ったピザ



「全国薬草シンポジウム2019inひだ」の開催に合わせ、飛騨の薬草が体験できる施設「ひだ森のめぐみ」が10月13日(日)に古川町式之町にオープンしました。

この施設では、常時体験できる薬草ワークショップや、薬草商品の販売、薬草・生薬標本の展示、薬草茶の試飲サービスなどがあります。薬草を活用したさまざまな体験をし、ここにしかない魅力に触れ、自然の力である“薬草”を普段の生活に取り入れてみませんか。



1階には、薬草茶やティーセレモニー用容器など薬草関連商品の販売やティーセレモニー(野草茶づくり)や薬草七味づくり、クズの花玉づくりなどのワークショップを常時体験できるワークショップスペースが設置されています。



2階には、薬草・生薬の展示や薬草絵手紙の展示があり、薬草について学ぶことができます。



中庭には、市内の子もたちが手作りした鉢に植えられた約40種類の薬草が並べた「ひだ森庭園」があり、生息する薬草を観賞しながら薬草コンシェルジュによる薬草のを見つけ方や加工方法などの話を聞くこともできます。

ひだ森のめぐみ

住 所 古川町式之町6-7
 営 業 日 毎日営業(年末年始を除く)
 営業時間 10:00~16:00
 電 話 0577-73-3400
 メールアドレス hidamori3400@yahoo.co.jp